

ABA 資格認定制度 工場塗装管理技術者について

近藤 旭*

コロナ禍において第2弾となる緊急事態宣言を受けた2021年2月当初実施予定から延期はあったものの、去る2021年5月7・8日、第1回となる『ABA 認定工場塗装管理技術者』講習・試験が実施された。難しい情勢下の中、世間の他の類似試験等の実施状況や方法を調査し、講習・試験地も会員企業の施設等に変更したり、送風機や体調管理等のチェックなど万全な感染対策を敷いた上での実施である。

ここでは数年間の紆余曲折を経て、晴れて実施されたこの資格制度の概要について下記の通りお話しすることとする。

1. ABA とは

資格認定制度について話す前に、まずは読者の方にABAとは何ぞや、ということをご説明しなくてはこの資格制度創設の経緯は始まらない。ABAとはアルミニウム合金材料工場塗装工業会の英語名 Aluminum Baking Enamel Coaters Association を略したものである。アルミニウムに対する素地調整として、薬剤による化成皮膜処理や陽極酸化皮膜処理の設備を自社内で保有し、厳格な品質管理の下でアルミニウムに塗装をする企業の集合体である。処理薬剤の種類としては、有害性は指摘されているものの代替品の性能の未熟さゆえに未だ使用される六価クロムを始め、環境により優しい三価クロムを生成皮膜とする薬剤や完全クロムフリーといった様々な薬剤をどれか一つ、もしくは複数種類使用している企業も多い。また、性能が高く環境にも良いとされる陽極酸化皮膜処理を実施できる企業も加盟している。主に建築材料に対するアルミニウム塗装を実施している企業が中心となって構成しており、正会員と呼ばれる塗装会社の他、薬剤メーカーや塗料メーカーを始め、付随する塗装関連の企業にも主旨を賛同してもらい、賛助会員として名を連ねてもらっている。令和4年1月1日時点において正会員は21社、賛助会員は16社在籍している。

ABAに在籍しているものは必ずしも建築材料の金属塗装だけをしているわけではないが、何らかの形でアルミニウム（合金）建築材料への塗装を実施しており、塗装の中でも比較的、長期の耐候性が求められる分野を対象にしている。よって長期間での経年劣化における剥がれなどの不具合などに品質管理の焦点が当てられることが多い。にもかかわらず、長い間、“工場”における俗に言う“焼付”塗料での建築金属材料関連の塗装において、公的な品質規格などは存在しな

かった。JIS（日本産業規格）やJASS（建築工事標準仕様書）における塗料分野の規格とえば、その多くが常温乾燥形の塗料であり、“焼付”塗料つまり“加熱硬化形”の塗料に関する規定・規格は存在しなかった。そこで、日本建築仕上学会では、長年に渡る研究成果の結晶として、まず2005年に素地調整として陽極酸化処理とクロム酸クロメートを採用した溶剤系塗装について定めた『焼付け塗装標準仕様書・同解説』、そして改訂更新版であり、進化版ともいえる、環境に配慮しながら三価クロム系及びリン酸クロム系化成処理を加えた2013年の『加熱硬化形溶剤系塗装標準仕様書・同解説』（以下、溶剤系標準仕様書と記す）、2018年に環境にやさしいVOCを塗料から排出しない粉体塗装の標準指針として『粉体塗装仕様標準指針・同解説』（以下、粉体標準指針と記す）を、それぞれの書籍の名に起こし言葉として冠されている「建築用アルミニウム合金材料」への塗装の規格として編纂した。ABAの会員企業、特に理事に名を連ねる企業はこの執筆編纂作業に直接関わっている企業も多い。故にABAは2014年2月にこの溶剤系標準仕様書（とのちに発刊された粉体標準指針）の遵守を目標とするために創設された、といっても過言ではない。創設の経緯やその他の目的、活動報告などの詳細はABAのHPをご覧ください（<https://aba-jp.org/>）。

2. 工場塗装管理技術者の創設

先に述べた溶剤系標準仕様書及び粉体標準指針の第1章「総則」には、二つの建築用アルミニウム工場塗装に関する資格認定について言及されている。その一つが当該投稿のテーマである「塗装管理技術者」であり、もう一つは「塗装技能者」である。前者は後述するとして、後者は似て非なるものとして、厚生労働省によって所管されている国家資格である技能検定制度において「塗装」の検定がある。5種類の塗装作業（木工、建築、金属、鋼橋、噴霧）に分けられ、金属塗装作業は1級から3級、その他の塗装作業は1級と2級の等級があり、各都道府県職業能力開発協会が行う技能検定試験（実技および学科）の合格者は塗装技能士として認定される。これらの技能士は工場におけるアルミニウム合金材料に対する加熱硬化形塗装に際して、他の技能者に指導する立場で作業をして、塗装品質の確保と向上を図る目的においては有用であると考えられるが、これらの試験内容は当該仕様書・指針で提示するアルミニウム合金材料に対する加熱硬化形溶剤系塗装の技能や知識・情報としては、必ずしも適切ではないと考えられる。故に塗装技能者においても別途建

*ABA 専務理事（(株)マルシン代表取締役）

建築金属材料の工場塗装に関する認定資格創設が望ましいが、塗装技能の評価方法や評価場所・評価者の選定など、新技能者検定制度の創立・実施におけるハード・ソフト双方のパワーは生半可な内容では難しく、会員が日本でもごく限られている ABA の現状では容易ではない。故に ABA では、当面の建築材料への塗装品質管理を担保するために、先に「塗装管理技術者」の創立の焦点を当てた。

その第一歩となる第 1 回会議は 2019 年 4 月に、(一社) 軽金属製品協会の関連団体である (株) アルミ建材センターが所有する東京赤坂のアーブセンタービル 3F にて執り行われ、ものづくり大学名誉教授の近藤先生をはじめ、ABA 各企業よりのちに正式に委員として活動する大塚常務理事 (大塚金属 (株) 代表)、前島理事 (筒井工業 (株) 代表)、近藤専務理事 (筆者)、ABA 技術スタッフである加納氏 (宮越工芸 (株))、長谷川氏 ((株) 日本電気化学工業所)、賛助会員から近藤氏 ((株) トウペ)、渡部氏 (大日本塗料 (株)) が参加した。また、特別オブザーバーとして (一社) 軽金属製品協会専務理事である佐藤氏をはじめ、当組合の専務理事である福田氏、また前述の厚労省所管の塗装技能検定に一部携わっている (一社) 日本工業塗装協同組合連合会から事務局長の宮原氏、そして会として独自の工場塗装認証制度創設を目指す (一社) 国際工業塗装高度化推進会議 (IPCO) 理事長窪井氏に参加頂き、各団体の意見を聞かせて頂いた。この際、資格創立を目指す委員会として正式に『ABA 資格認定制度検討委員会』を立ち上げた。委員長を前島氏とし、顧問として近藤先生にお手伝い頂くことになった。また第 2 回以降は原則委員のみによって議論が進むこととなった。

足掛け 1 年半、11 回にもわたる検討委員会の会議の中では、技能検定以外の、主に民間企業・機関が主宰する塗装に関する資格検定などを分析して、ABA 会員企業へのアンケートによって資格へのニーズの把握、試験に盛り込む内容などを決定し、全 70 ページ以上にわたるテキストの作成も行った。テキストの内容は基本前述の溶剤系標準仕様書、粉体標準指針に準ずるが (特に下記の 2 章)、建築業界の基礎知識や ISO をはじめとした一般的な品質・環境管理などのマネジメント知識が欠落した状態では管理者として顧客との的確な会話や交渉が出来ないと考え、下記のような内容を盛り込んだ (章のみ抜粋掲載)。

第 1 章 環境配慮と工場塗装

第 2 章 工場塗装一般

第 3 章 建築に関する基礎知識

第 4 章 マネジメント

また、受験希望者に対する試験のみの実施ではなく、1 日目に講習を受け、2 日目に試験を実施する、というスタイルを取った。なお、第 1 回では、テキスト編纂に携わった各委員が講師となり講習会を実施した。2 回目以降も当面は同様のスタイルを取ろうと考えているが、のちには当該試験合格者が順調に成長し、各企業における中心となり、塗装や工場作業における品質や工程管理を語れるような人材になった暁には、彼

らに講師を務めていただきたい、というのが委員の本音であり、希望である。

こうして順調に進んでいったかのように見えた資格認定制度であるが、その最中、ご存知のように新型コロナウイルスが世界を直撃した。会議もリアルな討論ではなく、リモートやメールが中心となり、思ったように審議内容が進まないこともあった。また当初は 1 ヶ所での講習試験の開催を見込んでいたが、全国に会員企業が存在することもあり、公共交通機関による移動に不安の声もあったことから、関東 (大宮)・中京 (名古屋)・関西 (大阪) での三地点同時開催の試験とし、講習は各企業からの Zoom® を利用したリモート接続による開催に変更した。そうして最初は 2020 年秋の実施を目指していたものの、中々コロナの実態が見えてこないことから早々に延期を決定した。一旦緊急事態宣言が空け、感染が落ち着いた 2020 年 10 月頃に翌年 2021 年 2 月の実施を決定したが、2020 年末の感染者増大に伴い、新年早々に緊急事態宣言が再び発出されたため、これも再度の延期を余儀なくされた。

こうして新しい予定日を 5 月初旬として再び動き出し、3 月には徐々に状況が落ち着いてきて緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を解除する地域も出てきた。東京においては講習試験開催の 5 月 7・8 日には緊急事態宣言が出されていたものの、試験地である埼玉、愛知は各市で地域差があるもののまん延防止等重点措置の期間中であつた。しかし、試験直前のゴールデンウィーク前 4 月 25 日には大阪に緊急事態宣言が発出されてしまった。そこで、受験者がいる企業や受験者本人達にも確認をし、試験地迄の交通手段等も確認した上で、難しい判断だったが、予定通りこの日程で実施することを決定した。直前でのコロナ情勢により数名の辞退者がいたものの、第 1 回の受験者は全部



で11名ということになった。会員企業への調査においてはコロナ発生以前では約30名の受験希望者がいたため、すこし寂しい感じもあったが、こういった状況下で各企業・各人の考え方等は異なる故に致し方ないと思う。厳しい中でも、こうして第1回講習試験が開催された。

3. 今後の認定試験について

第1回講習試験では前述の11名中9名が晴れて合格した。合格率が高いように思われるが（約82%）、第1回ということで、受験者は各企業の中でも選抜された人材であり、筆者も度々ABAや塗料メーカーが主催する各地の勉強会等で拝見した顔ばかりで（注：だからと言って身内びいきがあるわけではない）、合格率が高くなるのも必然である。

なお、合否判定に関しては、受験前から一定程度の合格ラインの目安を決めていたが（約80%前後の正答）、上記の検討委員会から、各企業・受験者に雇用や利害関係のない第三者である近藤照夫顧問と検討委員会の委員長である前島氏、及び各人の回答・試験結果を唯一知っている事務局である筆者の3人のみで合否判定委員会を開き、各受験者の各設問への回答状況を鑑みて、最終的な合格ラインを区切った。これは当初の合格目安と大差のないものであった。この際、筆

者は最終合格ラインの選定自体には一切かわっていないことは付け加えておく。また、合格者の名簿は同年7月からABAのHP上でも公開されている(<https://aba-jp.org/certification/>)。昨今、個人情報保護などの規制は厳しくなっているが、合格者氏名を公表することは各受験者に事前に確認済みである。会員の顧客企業等が「認定試験の合格者がその企業に確かに存在する」と唯一確認できるツールであるため、今後もHP上での合格者掲示は続けていきたい。また、2021年7月には合格者には認定証を送付し、名刺などで『ABA認定 工場塗装管理技術者』と名乗ることを認めている。

第2回はコロナの状況との相談事ではあるものの、本年2022年の5月から6月に実施予定である。第1回の反省等を踏まえ、更に運営にも磨きを掛けたい。また、コロナが落ち着いてきたら受験者数も拡大できることを願っている。最終的にはABA会員企業のみならず、会員外であっても建築金属材料の塗装に携わる技術者や管理者、例えばゼネコンやサッシメーカーの技術者やその他の塗装企業などにもその実績を紹介し、受験者が現れることを期待している。この認定制度の活用を通して、溶剤系標準仕様書や粉体標準指針の認知度向上、そして工業塗装における品質の向上と国内塗装企業の力強さをアピールしていきたい。

ベトナム・ホーチミンから Chúc Mừng Năm Mới ！！

戸崎 勇人 *

Chúc Mừng Năm Mới ！！

ベトナムから、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、去年は一昨年以上にコロナ禍に惑わされた年だったと存じます。

私はその中でもかなりコロナ禍に虐げられた部類で、1年の3分の1を隔離生活、更にコロナ陽性も経験させて頂きました。

今回は異国の地での“コロナ陽性者”の待遇をお伝え出来ればと存じます。

私が陽性になったのは、ベトナム政府の付け焼き刃法令による最も厳しい処置を受け、会社内で“労食住”を集約する工場隔離の真ただ中での出来事でした。

その日は起床時から頭痛があり何かいつもと違うと感じましたが、身体は大丈夫でしたので通常勤務をしていました。しかし日が暮れるにつれ身体の調子も悪くなってきたので念のため簡易検査を行うとまさかの2本線（陽性反応）・・・事務所にいたベトナム人スタッフがそれを確認した途端、皆一斉に走って散った姿を今でも忘れません。次の日にはやはり熱が出たので横になり安静にしていたところ、念のため近くの国際病院で入院することになり、異国の地ということもありVIPルームを用意したと言ってくれました。

それを聞き安心して向かったところ、まずは再度正式にPCR検査を行い、その検査結果が出るまでは待機所で待つことになりました。しかし昼過ぎに入り夕方ごろには結果が出ると聞かされてから待てど暮らせど誰も来ず、通された待機所というところは清掃の行き届いていない公衆トイレのような不衛生な建物で検査待ちの人ですし詰め状態。その中の1人の女性が辛そうに咳き込んでおり、偶然通りかかったドクターに呼吸し難いので助けて欲しいと懇願すると、おもむろに体温計と血圧計と取り出し一通り検査し終わると、少し待ってと言い病棟に向かったがそれから一向に戻ってくることはありませんでした。時間も21時、22時に差し掛かって結果報告もなく、その間に何度となく通訳の子に連絡を取り、「一体いつになったら結果が出るのか？」「食事は出ないのか？」「薬も出してくれないのか？」と聞くと「ドクターに連絡します。」「連絡が取れましたので安心して下さい。」「ドクターがこれからそちらに向かうそうです」・・・結局この公衆トイレには自分が出るまで誰も来なかったです。

その間に病棟から大きな袋を乗せたストレッチャー（見るからに人型の形）が目の前を何度も往復している姿を、空腹と高熱でボヤッとしている頭の中



外出禁止との政令が出された時に政府は軍隊の出動要請を行った



食糧の購入も含め一切の外出禁止時の政府からの配給



工場隔離時のストレス解消にとスポーツに励む姿（飛んでいるのが私）

で、「このまま異国の地で自分も孤独に死ぬのかな」と、不謹慎ですが死を覚悟しました。

結局結果が出たのは次の日の昼過ぎで、勿論陽性（ここで陰性でも 50 m² にも満たない不衛生な密室で陽性者約 20 人と 1 日中共にしていたので後日 100% 陽性になるでしょうが）と診断され、やっと状況から解放されて VIP ルームに通されるのかと思ったが「あなたは比較的軽度の症状。VIP ルームは重度の患者のみの使用となり、軽度の人は今から野戦病院に移動してもらいます。」と一蹴・・・通訳にクレームをつけると、「病院がそう判断したのなら仕方がない。野戦病院に行ってください。」と真っ当な返答。これは最初から野戦病院に行かせるための手の込んだ罠だったのかと肩を落とし涙を堪えながら 5 時間程待たされ、やっと来た救急車に乗り野戦病院に向かいました。

到着後すぐに持ち物検査され、延長コードの持ち込み禁止と言われ没収。すると検査員が目を離した隙に、建物からひょいとしてきた男が没収ボックスから私の延長コードを取り逃げようとしたので呼び止めたところ、満面の笑みで「黙っててくれる??」と言い走っていきました。ですので私もそれを真似て他に没収さ

れた物を黙ってカバンに忍び込ませ、満面の笑みで建物に入りました。

私の入った野戦病院はまだ新しい巨大倉庫を貸し切った場所で、中はとても綺麗でベッドが整然と並べられ、それぞれに仕切りもあり昨日までいた公衆トイレとは天と地の差があり正直驚きました。ただベトナムあるあるで、トイレが洋式だったのですが全ての便座が壊され、タンクの蓋が割れて地面に転がっていて、洗面台は傾いていました。ベトナム人はトイレを使用するとき落ち着いて出来ないものかといつも不思議に思います。

とはいうものその他はどこぞの国際病院と比べて快適で、不満なく約 2 週間もの隔離生活を終えました。

現在では社会隔離等、様々な規制は解除され生活は通常通りに戻っておりますが、約半年に及ぶ政府の対策は数々の工場、飲食店等を廃業に追い込んだりと、国民は未だコロナだけでなく生活に対する不安の声が出ております。しかし少しずつ「ウィズコロナ」をスローガンに前進しつつ、コロナ禍以前よりも活気だった国に成長することを願っています。

On demand powder coatings

conall®

コナール

環境にやさしい、小ロット短納期、オンデマンドオーダー粉体塗料・コナール

- 1 ケース **5 kg** からの指定色を製造※
- 鮮鋭性・平滑性にすぐれ、美しい仕上がり
- ご希望の色を忠実に再現
- 短納期

用途に応じた、豊富なラインナップ

標準タイプ	スーパーコナール	FL フッ素	屋外用最高級グレード。最高ランクの耐候性を有するフッ素樹脂粉体塗料です。
	ハイパーコナール	FH フッ素ポリエステル	屋外用高級グレード。フッ素樹脂を使いコストパフォーマンスに優れた中間グレード。
	コナール	PK 高耐候ポリエステル	1 ランク上の屋外用。耐候性と付着性のバランスが取れた使いやすい粉体塗料です。
		PU ポリエステル	一般屋外用。平滑性に優れ艶有から 3 分艶有まで調整可能です。
		PH ポリエステル	一般屋外用低温型、160℃×20 分での焼付が可能です。焼付時にヤニが出ません。
		HT エポキシポリエステル	一般屋内用。強靱で鮮鋭性に優れた塗膜です。
		HL エポキシポリエステル	一般屋内用低温型、150℃×20 分での焼付が可能です。
意匠性タイプ	コナール	ウェーブ	意匠性凹凸模様。溶剤系では表現できない立体的な模様で、重厚感と高級感を演出します。
		メタリック	ペンディングタイプ。溶剤系とは違うメタリックで重厚感と高級感を演出し、塗装も容易です。
		スリックスエード	新たな色彩表現となめらかな感触で商品に新しい可能性を開きます。
	コナールトーン	ハンマートーン	ハンマートーン模様。溶剤系でも長く親しまれてきたハンマートーンです。模様再現性は溶剤に比較して容易です。
		リンクルトーン	リンクル模様。縮み、チリメン、リンクルなど溶剤系でも様々な名称で親しまれてきました。粉体の模様は溶剤と比較して緻密で均一になります。
		スネークトーン	スネーク模様。リンクルトーンに似ていますが、まさに蛇革です。色を工夫することで斬新なイメージを与えることができます。
		アンティークトーン	アンティーク模様。粉体塗料独特の模様です。アンティーク、バンビー、フラッシュトーン、ハンマートンなど様々な呼称で呼ばれています。
		キャンディトーン	カラークリヤー。発色・塗装作業性だけでなく塗膜性能にもこだわり、今までのカラークリヤーを凌駕します。
		テラトーン	テラコッタ調模様。南欧素焼風の模様も粉体塗料であれば 1 コートで再現できます。
	チョコナ	各種	ペットボトル入粉体塗料。即日出荷の 100 色カラーバリエーション。粉体塗料をより多くの人に、より多くのものに。1 本 330gx2 本入りでオンラインショップにて販売中。

※ コナールトーンなど一部の塗料を除きます。詳しくはお問い合わせください。

● 樹脂により艶の調整範囲が異なります。詳しくはお問い合わせください。 ● 模様系塗料は、塗装設備・機器の種類、膜厚、焼付条件などで模様の状態が変化することがあります。 ● メタリックは、塗装機器の種類、膜厚等により輝度やメタリック感が変わる場合があります。 ● キャンディトーンは下地が透ける塗料ですので、下地の状態や膜厚により表情が変わります。



塗料・塗装資材の総合商社
小ロット溶剤調色
小ロット粉体製造
塗装機器・設備のコーディネート

化学で人と自然の共生する明日へ



株式会社 三王 粉体事業所
埼玉県草加市弁天 4-17-18
TEL: 048-931-2001
FAX: 048-931-2141
www.san-oh-web.co.jp
info@san-oh-web.co.jp

快適と信頼が
私たちの商品です。

表面処理の総合商社…



株式会社 **板通**

<http://www.itatsu.co.jp>

本社 〒326-0802 栃木県足利市旭町 553 TEL 0284(41)8181 FAX 0284(41)1250

本部 〒373-0015 群馬県太田市東新町 330 TEL 0276(25)8131 FAX 0276(25)8179

岡毛支店/埼玉支店/高崎支店/小山支店/宇都宮支店/水戸支店/東北営業所
フィリピン/タイ/インドネシア/中国

横浜化成株式会社

本	社	☎108-8388	東京都港区高輪2丁目21番43号	☎03(5421)8266(大代)
大	阪	支	店	☎530-0047 大阪市北区西天満5丁目1番9号 ☎06(6364)4981 (代)
千	葉	支	店	☎263-0001 千葉市稲毛区長沼原町804番地 ☎043(259)2311 (代)
静	岡	営	業	所 ☎422-8067 静岡駿河区南町13番3号(TKビル) ☎054(282)5366 (代)

地球に優しい環境型塗装技術はこれからの優先課題です！！

地球環境に優しい次世代の塗装法 Powder Coating (粉体塗装)

「長さ 17.5m」「重量2.0t」最先端の生産環境におまかせください。

妥協を許さない信念で、高品質を保ち保ち続けます。



株式会社 明希

代表取締役会長 新井 かおる (薫) 代表取締役社長 新井 裕喜

〒675-1202 兵庫県加古川市八幡町野村字蟹草 616-44

TEL 079-438-2737 (代) FAX 079-438-2771 (代)

HP: <http://www.e-orca.net/~meiki/> Email: meiki_qa@e-orca.net



樹脂からマグネシウムまでをラインシステム化した多量生産方式を採用

新素材をコーティングする

粉体塗装

電着塗装

溶剤塗装

本 社 〒142-0063 東京都品川区荏原 6-17-16 ☎03(3787)0711(代)
上里工場 〒369-0315 埼玉県児玉郡上里町大字大御堂字長久保1450の37 ☎0495(34)0801(代)
児玉工場 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄 800-9 ☎0495(72)6191(代)

ISO 9001・14001 登録企業

アックでは、塗料・塗装方法・設備・機器
の提供はもちろん、塗料専門商社と
しての経験と知識を活かして、皆様が
抱える問題に対し、環境時代に最適な
「アイデア」を提案します。

環境時代が求める
エコロジカル・
ペインティングへ



お客様に「信頼と満足」を

株式会社アック

www.a-c-c.co.jp

本社/名古屋市港区十一屋2-12 〒455-0831 TEL(052)381-5599

名古屋・小牧・三河・豊川・弥富・浜松・いわき・山口・東京

ビル外装建材に高耐久性粉体塗装を

優れた耐久性を有し、環境に優しい粉体塗装がビル外装建材に施されています。
素材に合わせた最適な前処理と管理体制で粉体塗装の長所を最大限に引き出します。



渋谷駅東口渡り廊下
スチール窓枠
フッ素樹脂粉体塗装



クロスコートタワー(名古屋駅前)
スチールブラケット
ポリエステル樹脂粉体塗装



中部国際空港
天井スチールパネル
ポリエステル樹脂粉体塗装

粉体塗装のパイオニア
 筒井工業株式会社



〒475-0021 愛知県半田市州の崎町2-112
TEL 0569-28-4225 FAX 0569-29-0870
E-mail: tsutsuik@citrus.ocn.ne.jp
<http://www.tsutsuik.co.jp>

建築・装飾金物の焼付塗装



株式会社 マルシン
<http://www.kk-marushin.com>

アルミニウム合金材料工場塗装工業会(ABA)加盟

【取 扱 製 品】アルミ、スチール、ステンレス製品の焼付塗装及びグライツ吹付

【取 扱 塗 料】フッ素・ウレタン・アクリル等溶剤系塗料、粉体塗料

【粉体認定工場】AkzoNobel 社、FineShine 社、JOTUN 社、TIGERDrylac 社



草加工場【スチール製品】
〒340-0002
埼玉県草加市青柳 2-11-39
TEL048-931-5200/FAX048-931-5888

松伏工場【アルミ/ステンレス製品】
〒343-0104
埼玉県北葛飾郡松伏町島東 1-1
TEL048-993-1116/FAX048-991-2002



粉体塗装のパイオニア。



独自のパルス制御で美しい仕上がりへ

新製品

Pulse Power 9000 シリーズ



Pulse Power9000S
塗料タンクモデル



Pulse Power9000TS
2 丁取塗料タンクモデル



Pulse Power9000B
塗料箱モデル



Pulse Power9000TB
2 丁取塗料箱モデル

東京営業 : 03-3278-4800
北関東営業所 : 028-662-7641

名古屋営業所 : 052-823-1751
大阪営業所 : 06-6386-6132

北陸出張所 : 0766-26-5131
九州営業所 : 093-631-7464



素材の付加価値を向上する



地球にやさしい粉体塗料

V-PET Series

高意匠性シリーズ 特殊模様粉体塗料

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 サテン

落ち着いた高級感あるサテン調仕上げ

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 リンクル

立体的な3分つやからグロスの凸凹模様仕上げ

パウダーフロンシリーズ ふっ素粉体塗料

ふっ素樹脂系

パウダーフロンCW

3分つや〜フルグロスまで光沢調整が可能

ふっ素樹脂系

パウダーフロンSELA

ふっ素樹脂とポリエステル樹脂の二層分離形

・・・彩りに優しさをそえて・・・
未来へつなぐ

DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社

お問い合わせは
●大阪 ☎06-6266-3134 ●東京 ☎03-5710-4505
●小牧 ☎0568-76-5578 <https://www.dnt.co.jp/>
イー・エス・エー
塗料相談室フリーダイヤル 0120-98-1716

ガス業界初のプライバシーマーク指定審査機関です。

プライバシーマークは、個人情報の保護や運用の状況が適切である事業者の証です。

LIA-ACは、公平・公正・迅速・丁寧・親切な審査を心がけています。

なお、当センターからISO認証を取得した事業者様等の申請も受付けております。



一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会
ISO 審査センター (LIA-AC)



〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-6 共栄火災ビル 7F
TEL 03-3580-3421 (直通) / 03-5512-7921 (代表)
<https://www.lia.or.jp/lia-ac/>

ISO 審査については、引き続きガス業界に限らずご相談ください。

〔日本パウダーコーティング協同組合より新年のご挨拶〕

1月も21日となり、若干遅いですがあらためまして新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては2020年初頭より続くコロナ禍ではありますが、お健やかに2022年の新春をお迎えになられた事と、心よりお慶び申し上げます。

2021年も2020年に続きコロナに始まり、コロナに終わった年でした。2022年を迎えてもコロナは変異株「オミクロン」として年明け早々第6波を迎えています。感染力は強いけどワクチン接種も進んでいることなどから重症化率はどうも低い傾向にある様です。しかし、感染者数が多くなると重症化率が低くても数は多くなるので注意が必要です。引き続き、手洗い・マスク・三密等基本を守り行動下さい。

日本の景気は横ばい傾向にあったものが、2016年後半より2017年にかけての内需外需の増加によりゆるやかな回復基調が続きました。2018年は災害の影響により、輸出・生産活動は弱含みで景気一服といった状態の中、設備投資や個人消費等の内需は緩やかに回復をし、2019年10月の消費税引き上げまでは同様の状況が続きましたが、10月の8%⇒10%への消費税アップでは個人消費等が今一つ低調になりました。2020年は初頭より新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がもたらされ、ほとんどの業界、特に観光・飲食・旅行業界は打撃を受けた年となりました。

コロナ禍が続く中、2021年はかなり2019年レベルまで我々が関係する業界は戻りつつありましたが、年中よりの半導体不足やコロナによる東南アジア特にベトナムからの部品等の供給不足の影響で自動車関連や家電関連等で大きな打撃を被り生産状況は芳しいものではありませんでした。2022年もこの様な影響が続くのではと思われます。コロナの終息、半導体不足等の解消により早く景気回復して欲しいものです。

更に、米中対立と共にウクライナ情勢に伴う米露対立等世界のあちこちでできなくさい状況が増加し、日本においても日中関係、日韓関係、対北朝鮮等不安要素が多く予断を許さない状況と言えます。

この様な状況の中で、我々を取り巻く業界は2019年までは若干景況感がアップの方向性でしたが、2020年、2021年は関係する業界の動向と同じ状況が続いています。

ちなみに、2021年1-11月の全塗料及び粉体塗料の生産量・販売量の対2020年前年比及び2019年対前々年比は

全塗料生産量 : 103.1%(2020年比)、92.4%(2019年比)

全塗料販売量 : 103.1%(2020年比)、93.6%(2019年比)

粉体塗料生産量 : 105.0%(2020年比)、99.7%(2019年比)

粉体塗料販売量 : 106.6%(2020年比)、101.2%(2019年比)

でした。〔主な業界の11月までの生産量対前年比及び塗料生産量対前年比については巻末の別表を参照下さい〕

我々が取り扱う塗料はこと環境に対しては決して優しいというものではありません。欧州や中国では環境規制が厳しく、環境に優しい塗料である水性樹脂系塗料や粉体塗料に溶剤系塗料がVOC削減の為に大きく切り替わって来ています。日本はその様な国と比較するとまだまだ

だ環境規制が比較的緩く、各種規制が行われている欧州や中国などに更に遅れをとる可能性もあります。昨年より日本でもSDGsやカーボンニュートラルなどが進められて来ていますのでチャンスであり今後に期待したいものです。

日本パウダーコーティング協同組合では昨年に引き続き環境に優しい粉体塗装の発展を目指し今後も諸活動を展開して参ります。言うまでもありませんが、これらの活動を通じ私ども日本パウダーコーティング協同組合が発展するためには経済産業省や全国中小企業団体中央会及び関係団体のご指導が欠かせません。

これからも組合としてなすべき事は沢山あります。今年も組合員・賛助会員各位のご期待に沿うべく気持ちを新たに頑張っていく覚悟でございます。

最後になりましたが皆様のご健康、ご発展とご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



「富士黎明」 JAPCA News220 (1月号) より 小島氏撮影

2021年（令和3年）10月－12月の主な組合活動報告

（日本パウダーコーティング協同組合活動報告）

- 1) 「パウダーコーティング」誌2021年秋季号発行 10月22日付
☆ パウダー協ホームページに2015年夏季号以降掲載
「パウダーコーティング誌編集委員会 10月12日 品川区大井町「きゅりあん」にて
- 2) 粉体塗装研究会セミナー
 - ① 2021年第4回目 11月9日 リモートにて実施
 1. 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（50分）
電気安全研究グループ 部長 崔 光石氏
 2. BS&Bセイフティ・システムズ(株)（50分）
IEP 営業部 セールスマネージャー 那須 貴司氏
 3. (株)ヒートエナジーテック（30－40分）
営業統括本部 本部長 萩原 和徳氏
 - ② 第5回目工場見学会〕 コロナ禍により中止
- 3) クオリコート委員会 11月4日〔(一社)軽金属製品協会にて]
- 4) IPCO〔国際工業塗装高度化推進会議〕理事会、合同部会他
 - ① 10月20日： 理事会及び合同部会
 - ② 11月 8日： 坂井理事長、高橋副理事長と工塗連・鈴木事務局長と福田（パウダー協・IPCO 顧問）の4名で経産省訪問
 - ③ 12月 9日： コーティングジャパン（幕張メッセ）にてCEMA→IPCO枠で講演〔パウダー協関係者では高橋（大）理事(IPCO 副理事長)、(有)タナベ塗工所 田辺社長、福田（事務局、IPCO 顧問）]
 - ④ 12月16日： 合同部会（ハイブリッド開催）
関東経済局主催カーボンニュートラルセミナー（リモート）
- 5) 2021年度海外視察研修は2020年度に計画したイタリアを中心に再度検討して参りましたが、コロナ禍により中止にしました。次年度以降再設定予定。
- 6) 支部関係
 - ① 東京支部 11月17日 支部幹事会
 - ② 名古屋支部 支部年末研修会 11月 26日 筒井工業(株)にて
- 7) 粉体塗装技術要覧第5版編集会議
 - ① 10月12日、10月22日 初校に対して会議実施 その後再校、再々校に対して会議をリモート及びメールにて順次実施。2022年1月末発刊予定。（塗料報知新聞社発行）
- 8) 関係団体・関係会社等の総会・セミナー等
 - ① 10月27日 労働安全衛生総合研究所における一委員会にアドバイザーとして参画
リモート開催〔福田（パウダー協事務局）]
 - ② 12月8－10日 コーティングジャパン
(株)塗料報知新聞社のご厚意で「パウダーコーティング」誌秋季号とパウダー協パンフ

レットを置いていただきました。

③ 12月15日 全国中小企業団体中央会月例研修会「補助金での課題対応」に出席

(会員・関係先転居関係)

(会員会社)

1. 旭サナック(株) 東京支店移転 1月10日より
東京都千代田区岩本町2丁目18-3 NBS岩本町ビル7F
TEL: 03-5846-9675 FAX: 03-5846-9685
2. ダイテック(株)
代表取締役会長 長谷川 智久氏 (パウダー協副理事長) 同社社長より
代表取締役社長 三浦 直和氏 新就任

(主な今後の予定)

1. 1月21日予定のパウダー協賀詞交歓会はコロナ禍により中止と致しました。
2. 「パウダーコーティング」誌新年号 1月21日発行
3. パウダー協105回理事会 2月1日リモート開催
4. パウダー協第26期締め 3月31日
5. パウダー協第26回総会 5月18日(水) 予定 場所はメルパルク東京

(東京都環境局「Clear Sky サポーター」に2019年9月に登録して2年経ちました)

2019年9月に登録して2年経過しました。粉体塗装は目的に合致した塗装方法だと考えて登録したものです。(VOC削減)

会員の中では、関西ペイント(株)(東京事業所)、関西ペイント販売(株)、(株)三王、大日本塗料(株)、中国塗料(株)、ロックペイント(株)様が登録されています。関係団体等では(一社)日本塗料工業会、(一社)国際工業塗装高度化推進会議(IPCO)、坂井技術士事務所様です。東京都に事業所をお持ちの法人及び東京都にお住まいの個人の方々は登録できますのでどうぞ！

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/torikumi/clearsky/index.html

登録者一覧

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/torikumi/clearsky/clear_sky.html

Clear Sky サポーターロゴ



支給のトートバッグ



支部便り（名古屋）

2021年（令和3年）パウダー協 名古屋支部年末研修会 実施報告書

日 時 : 2021年11月26日 14:00～16:30

場 所 : 筒井工業株式会社 参加者 : 24名

司 会 : 社本 吉正氏（㈱アック代表取締役・パウダー協理事）

タイムスケジュール	内 容	場 所	担 当
14:00～14:05	支部長挨拶	会議室	名古屋支部長 前島靖浩
14:05～14:30	I P D微粒化粉体塗装制御システムの説明	会議室	川口化成品㈱ 代表取締役 川口洋平氏
14:30～14:55	筒井工業概要説明 ・粉体塗装について ・T-C X コンサル事業部について	会議室	筒井工業㈱ 製造部チーフリーダー 中園広平氏
15:05～15:30	I P D制御システムの実演（A）	工場	筒井工業㈱ バッチ式塗装設備
15:30～16:00	工場見学（その間にAを焼付）	工場	
16:00～16:15	Aの仕上がり確認	工場	
16:15～16:30	質疑応答・アンケート	会議室	



座学（会議室内）



I P D実演中



非接触膜厚計による測定（焼付前）



焼付け後



焼付け後の塗膜確認



工場見学

- ・ 34名のお申し込みを頂きましたが、蜜を避けるため人数制限をさせていただきました。
ご参加できなかった方はご容赦下さい。